

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
であい ふれあい ひびきあい	言語能力 問題発見・解決能力 自分づくりに関する力

### (2) 中期取組目標

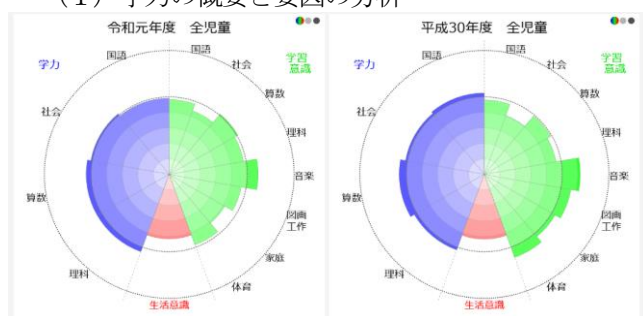
中期取組目標
<p>○地域・家庭・学校との連携を深め、温かい雰囲気のなかで子どもたちが生き生きと成長することができる学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が自分の思いを表現できる授業をめざし、基礎基本の定着を図り、学力向上に取り組めます。</li> <li>・多くの人々とのかかわりや体験を通して学び、主体的な活動を目指します。</li> <li>・自他とのかかわりのなかで、自他のよさに気づき、互いに認め合う心を育てます。</li> <li>・地域・家庭と連携を図り、協働教育を常に意識した信頼される学校づくりを目指します。</li> <li>・体力向上を目指し、身体と心の健康について全校で取り組めます。</li> </ul>

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<p>生きてはたらく知 (学習指導)</p> <p>担当 教育課程委員会</p>	<p>①学年の児童の実態・課題を把握し、ねらいを明確にし、主体的・対話的・深い学びをめざす授業に取り組む。②スマイルタイムを充実させ、基礎基本の定着に取り組む。③できる限りの多様な学習活動を通して、児童の興味関心を高めるとともに、根気よく追究する支援の充実を図る。</p>

## 2 横浜市学力・学習状況調査(令和元年度)等からの実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析



### (1) 学力の概要と要因の分析

令和2年度、学力・学習状況調査は行われなかった。そのため、令和元年度の学力学習状況調査から、本校の実態把握の資料とする。横浜市全体と比べた結果を見ると、社会、算数、理科は、若干ではあるが市の平均を超えている。朝学習を続けてきたことや、授業に前向きに取り組んできたことで成果が出ていると思われる。しかし、生活意識は、市の平均を下回っており、学力がついてきていることと、生活意識の向上が繋がっていない様子がうかがえる。

### (2) 教科学習の様子

- 国語科：学年によって「書く」「読む」「話す・聞く」など得意とする領域が違っている。それぞれの学年での傾向を把握し、領域に応じた対応策を考えていく必要がある。
- 社会科：「知識・理解」は、市平均を若干上回る学年が多かった。「技能」は市の平均を若干下回る学年があり、資料を読み取る作業をクラスで行うなど資料に触れる学習を考えていく必要がある。
- 算数科：「知識・理解」が市平均を上回る学年が多かった。「数学的な考え方」「技能」でも市平均を上回り、力をつけてきている学年も見られ、授業等で得た知識を使って繰り返し問題に取り組んでいくことが必要である。
- 理科：「知識・理解」は、全学年で市平均を上回った。引き続き、観察、実験等「技能」面を高めていくとよいと思われる。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析(学習意識・生活意識調査も含めて)

- 学年により得意な教科、領域が見られるため、各学年でこの結果をふまえて対策をたてる必要がある。得意な分野、不得意な分野を各学年で現状分析し、学年に適した指導方法を今後も考えていく必要がある。
- 生活調査は、市の平均を下回る傾向が続いている。自己意識が市の平均を下回っていることから、めあてをしっかりと、振り返りを行い自分のことを理解していくような活動を行っていき、前向きに生活していけるように考えていく必要があると思われる。

### 3 令和3年度 学年・教科等としての具体的取組

個別	<p>○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、個々の目標や学習内容に応じた基礎・基本の学習力や生活力を伸ばしていく。</p> <p>○言葉、表情、しぐさ、絵など発達段階に応じた適切な手段を用いて人と関わる場面を意図的・積極的に設け、コミュニケーション能力の向上を図る。</p>
1年生	<p>○日々の音読や朝の読書タイム、朝学習の時間の計算、平仮名、片仮名、漢字の練習を継続し、基礎的、基本的な学習の力をつけるようにする。</p> <p>○相手の話をしっかり聞くことを大切に、分からないことや知りたいことを尋ねたり、自分の気持ちを相手にわかるように順序を考えて話したりする活動を行う。</p> <p>○自分の経験と結び付けて、感想や考えをもつようにする。</p>
2年生	<p>○話す・聞く、読む、書く、の基礎的な学習の力をつけ、自信をもって前向きに学習に取り組んでいけるようにする。そのために、スキルタイムの活用、日記、読書の時間の確保、読み聞かせなどを取り入れ、学年全体で継続して取り組んでいく。</p> <p>○初めての問題や課題に対して、児童が意欲的に取り組めるような授業展開をする。安心して自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりすることができるよう指導していく。また、習熟の問題に取り組む時間を確保し、児童が「わかった」「できた」と実感できるようにしていく。</p>
3年生	<p>○漢字・計算などの練習を継続して行い、基礎基本の学習の理解、定着を図っていく。</p> <p>○読書活動や国語科の学習を通して、感情に関わる語句の量を増やし、各教科学習や日常生活の中で使えるようにする。自信をもって自分の思いや考えを伝え合えるようペアやグループでの交流の場を設定する。その中で友達の意見を聞き、自分との違いや良さに気づけるようにする。</p> <p>○自分で課題を見つけ、めあてを設定し調べたり考えたりして解決することを通して、自分でやり遂げる達成感や楽しさを味わえるようにする。</p>
4年生	<p>○朝学習を有効に活用し、算数の計算・測定技能の向上、漢字の読み書きの定着、読書による文章理解を深めるなどの基礎基本の定着を図る。</p> <p>○各教科において、一人で考える時間やグループでの話し合いの時間を設け、自分の考えを表現したり相手の考えをしっかりと聞いたりする力を伸ばすようにする。</p> <p>○体験的な学習を計画的に取り入れ、学んだことを実際に体験したり現地で確認したりすることを通して、さらに学びが深まるようにする。また、他者とのコミュニケーション力の向上を図る。</p>
5年生	<p>○日々の音読や朝の読書タイムの時間の確保・国語の並行読書の充実など、本に親しみ読書経験を増やして語彙や表現を豊かにする。</p> <p>○各教科において、一人で考える時間やグループでの話し合いの時間を設け、他者の意見と比べながら聞いたり自分の経験を交えながら理由を述べたりしながら話し合う活動を行う。</p> <p>○教室で学んだ学習を実際に体験したり実感したりする校外学習や体験学習を大切に学習を行う。</p>
6年生	<p>○日々の音読や朝の読書の時間の確保・国語の読書会など、様々な場面で本に親しみ読書経験を増やして語彙や表現を豊かにする。</p> <p>○各教科において、自分たちで問題を見つけ、それに対する学習課題を考える話し合いの時間を設け、自分の考えを表現したり相手の考えをしっかりと聞いて自分の考えを深めたりする活動を行う。</p> <p>○体験的な学習を計画的に取り入れ、自主学習で得た知識や教室で学んだ学習を実際に体験したり実感したりする校外学習や体験学習を大切に学習を行う。</p>

